



戦時下の社会



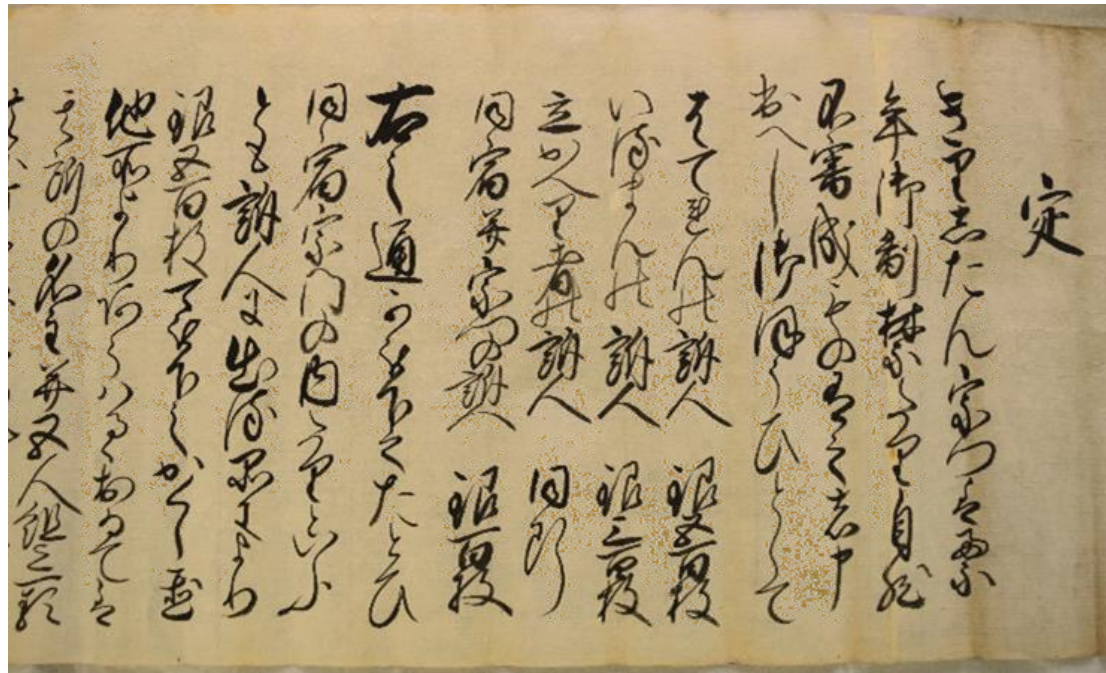
和歌山県立文書館

和歌山県立文書館って知っていますか？



和歌山県立文書館とは？

県や県内各地域の歴史資料として重要な文書その他の資料を収集・保存・整理して未来に伝えるとともに、これらを一般の利用に供することで、県民の学術及び文化の発展に寄与する施設。



今回はみなさんに**和歌山の歴史**
を**文書館の資料**から学んでほしい
と思い来ました。

右の「のぼり」
にはどんなこと
が記されている
でしょうか？



「榎家文書」

右の「のぼり」は
どんなときに使わ
れたのでしょうか？



「榎家文書」

右の「のぼり」は
どんなときに使わ
れたのでしょうか？



個人蔵

戦地に向かう兵士
を見送るときに使
われました。

これを**出征幟**と言
います。

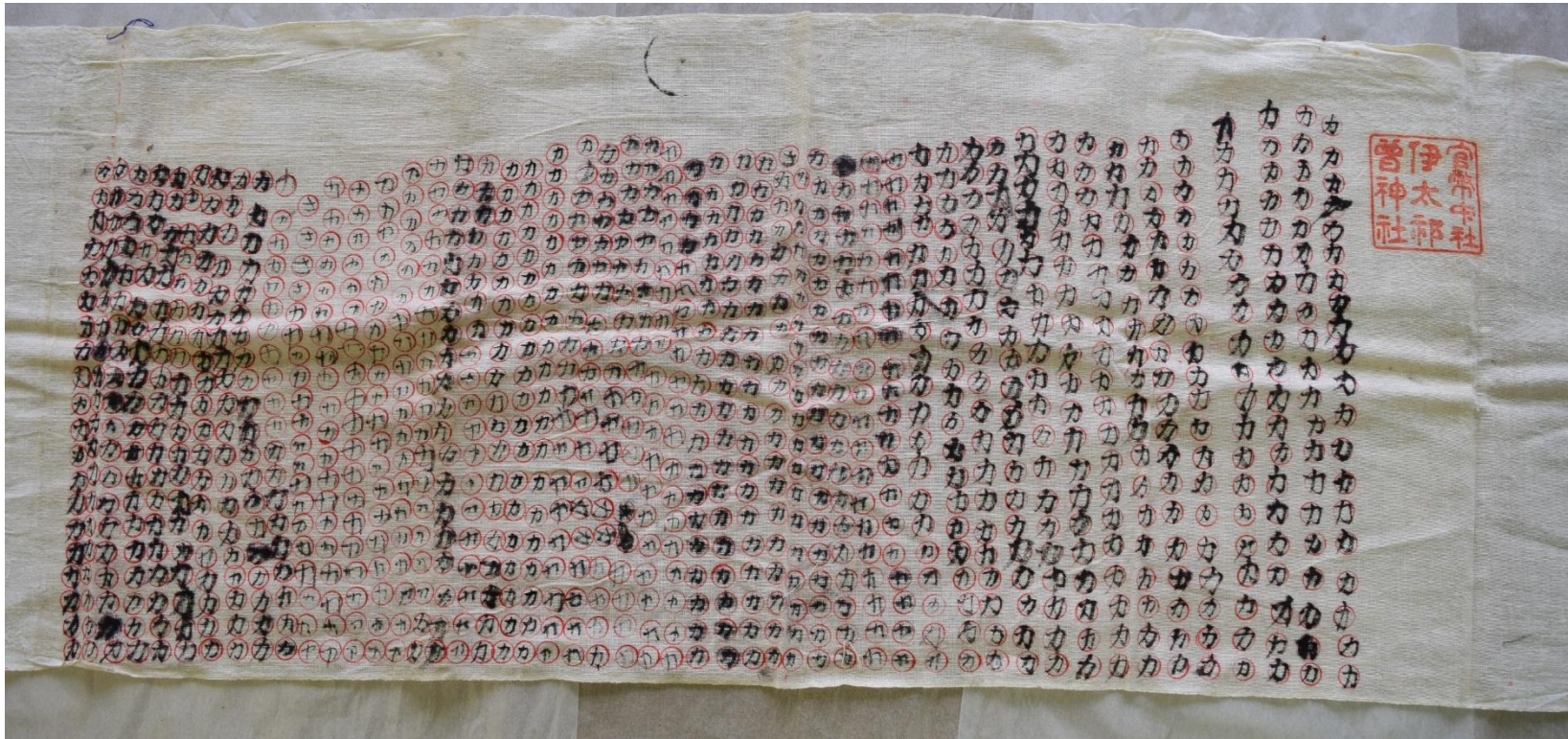


個人蔵

この出征幟は、日中戦争(1937-1945)の際に徴兵された「榎學」さん(現在の海南省出身)に勤務先の鐘紡東京工場から贈られたものです。



「榎家文書」



「榎家文書」

上の資料には何が記されていますか？

出征する人の**武運長久**
を祈って一枚の布に多
くの男性が「力」の文
字を書き込みました。

これを**千人力**と言いま
す。





「榎家文書」

上の資料には何が記されていますか？



「榎家文書」

出征する人を人々は
どのように送り出し
たのでしょうか？



「和歌山県営繕技師 増田八郎資料」

兄の出征を見送る女学生の文章

兄さんの出征

兄さんを先頭に私達は列をつくつて、市駅へ向つた。市駅へ着くと見送りの人でプラットフォームは一ぱいであつた。

間もなく電車が来た。

兄さんと、お父さんとは電車に乗つた。兄さんのお友達の人が兄さんの手を固く握つて『しつかりやつてくれ』と言つていました。

兄さんは、大勢の人にとりまかれていますので玉の様な汗を流していました。

私は発車にはまだまだ沢山時間がある様にと願つていたのに、電車は私達の心を察してくれないのか、動き始めました。

見送り人一同は

『万歳々々』

と旗を破れそうにふりました。又あちらでも、こちらでも

『しつかりやつてくれよ！』

『みやけには支那人の首を沢山……』等と口々に言つてはげましてくれます。

出征する人々を人々は
どのように送り出した
のでしょうか？



「和歌山県営繕技師 増田八郎資料」